

## 屋久杉

屋久杉は、杉(*Cryptomeria japonica*)の独特な種で、屋久島だけで見ることができます。この木は、海拔約 500 メートル以上の広葉樹の間で見られ、標高 1000 メートル以上の場所でも生育できます。屋久島は降雨量が多く、湿気が高いため、屋久杉には、他の木よりも約 30%も樹脂が多く、腐食しにくいのです。このような理由で、並外れて寿命が長く、樹齢数千年以上のものもあります。樹齢 1000 年以上の木だけが屋久杉と呼ばれ、他は小杉と呼ばれています。

歴史的に屋久杉は、もっぱら崇拜の対象であったため、切り倒されることはほとんどありませんでした。これは、16 世紀後半に鹿児島島の島津氏の力が増大するにつれ、変化し始めます。島津氏は、屋根を作る目的で、年貢として屋久杉を納めるよう、屋久島に要求しました。チェーンソーのような現代的な伐採道具の登場で、屋久杉の伐採はさらに加速しました。1966 年に古代の縄文杉が再発見されたあと、屋久杉の伐採は徐々に終了しました。